

つながりを切らない
孤立させない
新しいつながり方を提案する

つながる通信

第27号

発行日 2020年9月1日(火)

発行元

「つながりを切らない」情報・交流ネットワーク

〒981-0932

仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F (CLC内)

FAX: 022-727-8737 E-Mail: t-net@clc-japan.com

ホームページ: <https://www.t-net.online/>

- ・民生委員、児童委員の皆さんに…
- ・サロンや地域のボランティアの皆さんに…
- ・配食のお手紙に添えて…

こんなふうに使ってね

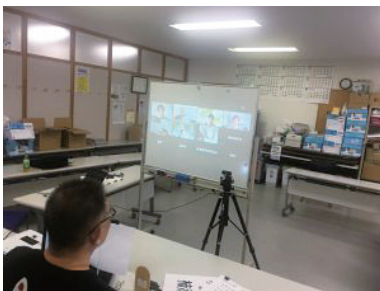
この通信の印刷、配布はご自由にご利用ください。
記事やイラストの一部を転載・転用する場合は、
t-net@clc-japan.comまで
ご連絡をお願いいたします。

新しいつながり方を知り、経験し、広げていく

認定NPO法人シーズネット(北海道札幌市)

認定NPO法人シーズネットは、豊かな高齢社会づくりに不可欠な高齢者自身の主体的な生き方を目指すための活動として、「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」をキーワードに、お互いが「支え合う」ことのできる地域社会を目指す活動をしています。事業としては、グループづくりとネットワークづくり、拠点づくりを中心に展開しています。2001年に元気高齢者のネットワークづくりのために立ち上がると、その後、北海道内にとどまらず、三重県や京都府でも活動が立ち上がりました。

現在、約900人の会員のいるシーズネットでは、仲間と支え合って趣味を楽しむ、豊かな老後を送るために社会活動への参加を促しています。会員自らの「やりたい」という声がかたちとなり、



webで脳活塾



webでよっちゃんと歌おう

おり、「いまは合奏やカラオケなど、飛沫感染のリスクがある活動は休止が続いているけれど、いずれは自分たちのサークルを自分たちで運営したい」と参加をしていると言います。

WEBサロンを始めてからはシーズネットの新たな

・WEBサロンを参加者が使い、活動を広げられるようにサポートする
・明確な基準のもと、感染予防に配慮し、できる活動を再開する

つながるポイント

北海道が独自に提案した「新北海道スタイル」を遵守して、感染予防に努めながら日々の交流を続けています。

7月からは、地域交流サロンや勉強・外歩きのサークルなどが、活動を順次再開しています。「新しい生活様式」をもとに、北海道が独自に提案した「新北海道スタイル」を遵守して、感染予防に努めながら日々の交流を続けています。

を延ばすか」を考え、シーズネットでは、WEBサロンを開催することになりました。アコーディオン奏者の「よっちゃん」と一緒に歌う「歌声寄り道便」や、「脳活塾」に定期的に取り組んでいます。

WEBサロンは、オンライン会議システム「ZOOM」を利用しています。ただ、その操作に不安のある

会員のために、「ZOOMの使い方研修」を実施しています。理事長の奥田龍人さんは、「WEBサロンに参加をしてもらうことだけが目的ではなく、『こんなつながり方がある、こうすればつながれる』ということを実感してもらい、新しい活動のあり方に発展させるのがねらい」と話します。実際に、使い方研修への参加者の一人は、リコーダーサークルに属して

WEBでサロン・9月版

7月から始めた「WEBでサロン」も参加者が多く、好評な滑り出しでした。コロナ禍の影響はまだ続きそうですので、9月も「WEBでサロン」で交流を盛り上げたいと思います。
9月のいまのところ決まっている予定をお知らせいたします。ぜひ、ご参加ください!

9月1日(火) 午前11時～11時30分

Zoomの講習会(2回目)

※「なかなかつながらない」、「つなぎ方がわからない」という方のために、対面で講習します。シーズネット会議室に来てください。参加希望の方はメール(下記アドレスへ)又はお電話ください。

9月8日(火) 午前11時～11時30分

よっちゃんと歌おう(3回目)

※アコーディオンを弾いた歌姫よっちゃんが、画面を通してみなさんと交流します。もちろん思いっきり歌を歌いましょう。著作権の問題が解決したので、いろいろな曲をご用意しています。

9月10日(木) 午前11時～11時30分

WEB 脳活塾(3回目)

※テレビなどで大活躍の脳活塾の塾長松沼さんが脳活トレーニングを行います。

9月15日(火) 午前11時～11時30分

よっちゃんと歌おう(4回目)

※アコーディオンを弾いた歌姫よっちゃんが、画面を通してみなさんと交流します。4回目ともなれば、みなさんが参加している実感を共有できるように、いろいろなやり取りをしたいと思います。

なお、奥田代表の読書会「地域家族の時代を読む」は、代表の都合でちょっとお休みします。

●参加するには

①メールで参加希望することをinfo@seedsnet.jpまでお送りください。そのメールに、参加するためのURLを送ります。

②サロン開催の時間が来たら送られてきたURLをクリックすると、主催者(この場合、シーズネット)から参加許可が来て自動的に画面を見ることが出来ます。

オンラインセミナー こぼれ話

「つながりを切らない」情報・交流ネットワークでは、7月に3回のオンラインセミナーを開催しました。ゲストから話題提供をいただき、参加者同士で情報交換がなされるなど、新しい私たちのセミナー運営となりました。本紙では、セミナーやその後の交流の様子を報告いたします。



第1回 ゲストスピーカー 酒井保さん
(近所福祉クリエイション 主宰・近所福祉クリエイター)
7月1日(水) 開催
「コロナ前・いま・これから」
マンガで伝えたいこと

チャットでつながる★参加者の輪

第1回のゲストは、「マンガつながる通信」の執筆をいただいている酒井保さん。酒井さんから、オンラインでの新しいつながり方の提案がなされると、チャットには参加者から次々と発言がありました。「60歳以上の方向けに7月からiPad講座を開催する」「高校生が先生になって携帯電話の使い方講座を高齢者に企画したことがあり、高校生と高齢者が「メル友」になった」「固定電話のFAXを活用したメッセージのやり取りをするサロンがある」「地域に住民さん同士でパソコンやスマホ、タブレットを教え合うサロンがある。ネットで買えるもの、スマホで電子決済など、身近な困りごとを気軽に相談できる場になっている」「困りごとが楽しみごとになっている」など、たくさんの情報を寄せ

ていただきました。

第2回 ゲストスピーカー 田村幸太さん
(NPO法人なごみ事務局 局長)
7月4日(土) 開催
「コロナ禍におけるつどい場の役割と可能性」
制限のある中でもできる・
広げる地域とのつながり」

その後につなぐ★講師と参加者の交流

第2回のゲストは、つながる通信4号で紹介したNPO法人なごみ(兵庫県西宮市)の田村幸太さん。田村さんのお話を聞いたNPO法人阿木ふるさと福祉村の原梨加さんは、つながる通信を読み、気になる点を整理しながらセミナーを受講し、なごみで取り組む生活支援サービスに興味を持ち、セミナー終了後に田村さんに連絡をとられました。「自分たちの地域で感じていた課題をなごみでは実践をされていた。そのノウハウを教えてほしい」と原さん。その後、ZOOMを使用して田村さんからのアドバイスを受けるなど、「地域性は異なっても、目指す地域の方向が同じとわかって力をもらった」と話します。今後は、西宮市内のつどい場ネットワークのオンライン会議も見学予定とのこと、実践の輪が広がっています。

第3回 ゲストスピーカー 池谷啓介さん
(NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝事務局 局長)
7月12日(日) 開催
「コロナ禍における差別的構造と
社会福祉協議会と取り組む
見守り弁当配達」

思いがちな★みんなの気づきの深め合い
第3回のゲストは、NPO法人暮らしづく

くりネットワーク北芝(大阪府箕面市)の池谷啓介さん。池谷さんからは、差別的構造(現場の声5号)箕面市社協と取り組む弁当配達(つながる通信5号)について、お話をいただきました。チャットでは、「箕面市社協が、地域の団体とスクラムを組んで継続的な視点でコロナ対策を実施されていることがすばらしい」という感想をいただいたほか、差別的構造についての多くの質問や感想が寄せられました。池谷さんからは、「今日集まっている人たちは、地域のつながりをどうつくっていくかと考えている人だと思う。まずは動き、情報発信をしていきましょう」とエールが送られました。さらに、コロナ禍における差別についてのガイドラインが掲載されたサイトを、参加者から紹介いただく場面もありました。

当ネットワークでは、今後もこうしたオンラインセミナーや交流会を企画していく予定です。詳細は決まりしだい、ホームページで公開します。

こんな情報を 求めています

・顔を合わせなくても
見守りを続けている

・サロンの再開に向けて
こんな工夫をした

など、事務局にぜひお寄せください!

編集後記

いつもの散歩コースでいつも出会うご婦人たち。のんびり歩いていると、いつも早足で追い抜かれるご婦人がおられます。早足でコースを歩いたあとは、入念なストレッチ。自律されたその姿に、尊敬と憧れの念を抱いています。

<各地の実践をお寄せください!>

「つながる通信」では、各地での実践を募集しています。「わがまちでこんな取り組みをしている」「私たちはこんな工夫をして、気になる人とつながっている」、そんな情報を編集部までお寄せください。後日、編集部より電話などで取材をさせていただきます。本通信やホームページ等で紹介させていただきます。情報は、E-mail:t-net@clc-japan.com、fax:022-727-8737まで。E-mailの場合は、タイトルを「情報提供」としていただき、①活動内容、②ご担当者名、③ご連絡先を記載ください。本通信の感想やご要望もお気軽にどうぞ!



「つながりを切らない」

情報・交流ネットワークで
最新情報をチェック!

「つながりを切らない」
情報・交流ネットワーク

<https://www.t-net.online/>

